

公募型プロポーザルにかかる質問への回答

業務名：令和6年度ながさき「しま」のビジネスチャレンジ開催業務委託

受付日	該当箇所	質問	回答
4月5日	仕様書 別紙(9) 審査項目・配点	昨年度の仕様書から、審査項目の一部を「雇用創出効果」から「地域に与える効果」に変更した理由をご教示いただきたい。	本事業はアイデアを募集するものであり、「雇用創出効果」が直ちに生じるものではない判断したことから「地域に与える効果」とした。
4月5日	仕様書 3. 業務の背景	昨年度のながさき「しま」のビジネスチャレンジ2023 応募者のうち、既存の支援制度の申請数など、成果についてご教示いただきたい。	令和6年度第1回の雇用機会拡充事業へ3件の申請があった。また、地域おこし協力隊員に1名就任した。
4月5日	仕様書 7. 業務の内容 (1) 企画に関する業務 ②	「しま」の先輩事業者の交流やネットワーク形成につながるイベントなど、ビジネスコンテスト参加者確保に必要なイベント等について、昨年度の実績及び課題についてご教示いただきたい。	<p>昨年度は、「しま」での起業・事業展開した先輩事業者の事例を紹介するプレイベントをオンライン2回、ハイブリッド1回の計3回開催し、延べ134名の参加があった。</p> <p>この参加者のうち14名がコンテストに応募するなど、当該プレイベントは、コンテスト開催に向けた機運醸成に寄与したものと捉えている。</p> <p>なお、ハイブリッド開催では、オンラインのみの開催に比べリアルでの参加者数が少なかったこと、また、昨年度の取組では、「しま」に来訪する機会を創出できず、応募者へのアンケートにおいて「『しま』行く機会がほしかった」との回答が多かったことから、プレイベントにける参加者の確保やコンテスト応募検討者を「しま」へ誘導する機会の創出が課題と考えている。</p>